

ねん がつ 2024年4月からの、
だいがく たんきだいがく せんもんがっこう だいがくいん
大学、短期大学、専門学校、大学院での学び方を考える
だいがく こうとうきょういくきかん まな かた
—大学など高等教育機関での学び方—

かいりんじゆくにほんごがっこう
開倫塾日本語学校
りじちよう はやしあきお
理事長 林明夫

1. (1) りゆうがくせい みなさま かいりんじゆくにほんごがっこう にほんご まな なんかん にほんごのうりよくしけん きゆういじよう
留学生の皆様は、開倫塾日本語学校でよく日本語を学び、難関な日本語能力試験2級以上
しゆとく
を取得なさいました。
- (2) すば せいか たか ひようかいた
素晴らしい成果と、高く評価致します。おめでとうございます。
- (3) きよう りじちようこうえんかい ねん がつ だいがく せんもんがっこう だいがくいん しんがく まえ ねん
今日の理事長講演会では、2024年4月の大学、専門学校、大学院の進学を前にして、2024年3
がつ かいりんじゆくにほんごがっこうそつぎよう げつかん す かた ほな
月の開倫塾日本語学校卒業まで、これから4カ月間の過ごし方をお話します。しっかりこ
こうえん き みなさま らいねん がつしんがく だいがく せんもんがっこう だいがくいん こうとう
の講演をお聞きして、皆様が来年4月進学なさる大学、専門学校、大学院などの「高等
きょういくきかん べんきよう やく た
教育機関」での勉強のお役に立ててください。

2. (1) しょうち ぞん もんぶかがくしよう ねん だいがくせつちきじゆん かいいてい ぶん かい
ご承知のことは存じますが、文部科学省は、2022年の大学設置基準を改定、「90分15回
たにい だいがく じゆぎよう じかん よしゆう ふくしゆう か けつてい にほんこくちゆう
で2単位の大学の授業について、45時間の予習・復習」を課することを決定。日本国中の
だいがく せつちきじゆん まも じゆぎよう おこな たんにんてい
大学が、この設置基準を守り、授業を行い、単位認定をしています。
- (2) たと
<例えば>
- ① しゆうかん じかん よしゆう ふくしゆう
1週間に10コマ授業を取る場合には、1週間に45時間の予習・復習を、
- ② しゆうかん じかん よしゆう ふくしゆう
1週間に12コマ授業を取る場合には、1週間に54時間の予習・復習を、
- ③ しゆうかん じかん よしゆう ふくしゆう
1週間に15コマ授業を取る場合には、1週間に67.5時間の予習・復習を、
- おのおの もと
各々、することが、求められます。
- (3) みなさま だいがく つうがく じかん おうふく じかん じゆぎよう で じかん じかん すいみんじかん
皆様は、大学などに通学する時間(往復1時間)、授業に出る時間(3~4.5時間)、睡眠時間
じかん のぞ つぎ よしゆう ふくしゆう じかん かくほ もと
(7~8時間)を除き、次のような、「予習・復習」の時間を確保することが求められます。

たと
3. 例えば、

(1) <1週間に10コマ履修>

しゆうかん じかん よしゆう ふくしゆう
1週間に45時間の予習・復習とは、

- ① しゆう か べんきよう ばあい にち じかん
週5日勉強する場合には1日9時間、
- ② しゆう か べんきよう ばあい にち じかん
週6日勉強する場合には1日7.5時間、
- ③ しゆう か べんきよう ばあい にち じかん
週7日勉強する場合には1日4.5時間、
よしゆう ふくしゆう
の予習・復習となります。

(2) <1週間に12コマ履修>

しゆうかん じかん よしゆう ふくしゆう
1週間に54時間の予習・復習とは、

- ① しゆう か べんきよう ばあい にち じかん
週5日勉強する場合には1日11時間、
- ② しゆう か べんきよう ばあい にち じかん
週6日勉強する場合には1日9時間、



③週 7日勉強する場合には1日 7.7時間
の予習・復習となります。

(3) <1週間に15コマ履修>

1週間に67.5時間の予習・復習とは、

①週 5時間勉強する場合には1日 15時間、

②週 6日勉強する場合には1日 11時間、

③週 7日勉強する場合には1日 9時間 40分
の予習・復習となります。



4. <理事長からの、20のアドバイス>

(1) アパートなどを借りる場合には、出来るだけ、学校の近くにす。

○通学時間を短くする。自転車でへ行けるところにする。

(2) あまり多くの科目を履修しない。

○大学に慣れるまでは、多くても週 10～12科目にする。

(3) 12月から3月までの4カ月間に、大学の予習をできるだけ多くしておく。

○特に、全く新しく学ぶ「第二外国語」を履修する場合には、大学で使う
教科書を手に入れて、徹底的に予習する。



(4) 4月から履修する教科の「教科書」を、大学などの書店で買い求め、100ページくらいまで、
徹底的に予習する。

○できれば、1ページから、最後のページまで、教科書を1冊全部予習する。

(5) 「予習」とは、

①意味のよくわからない語句があったら「辞書で調べる」。

②辞書で調べた語句は、すべて、「カード」か「意味調べノート」に書き写す。

③そして、その場で覚える。「音読練習」「書き取り練習」して、その場で覚える。

(6) これと同じように、「英語の教科書」も、徹底的に予習して、全部覚える。

○これからは、日本語同様、英語の勉強にも励む。日本語と英語を使いこ
なす。英語は世界の共通語。



(7) そして、よくわからないところを、はっきりさせてから、新学期を迎え、大学
の授業に出席する。

(8) 大学が始まり、授業が始まっても、どんどん予習を続ける。

○ゴールデンウィークが終わるまでに、すべての教科書の予習を修了させる。

(9) 大学の授業が終わったら、その日のうちに、「復習」をする。

○「復習」とは、「授業で用いた教科書、教材、授業ノート」を、「一語、一語ていねいに、声
を出して読みなおすこと」。



(10) そして、どのような内容であるか、よく考え、「理解を深めること」。

「理解を深める」のが、「復習」の目的。

(11) よく意味が分からない語句があったら、「気持ちが悪い」と考え、

「辞書」で調べ、「調べたことは、ノートや、カードに書き写す」。



○そして、その場で、「音読練習」「書き取り練習」をして、全部、しっかり覚える、「身につける」。

(12) 「復習」として、計算や問題、パターン練習なども、必ずもう一度、やり直し、しっかり覚える。

○なぜそのような解答になるのか、その理由が、よくわからない場合には、よく調べ、それでもわからなければ、友達に聞く。それでもわからなければ、次回の授業終了後、または、質問タイムに、先生に質問する。

(13) 一度、学んだことは、「予習」「復習」の時に、何回も、声を出して読む、「音読練習」と、「書き取り練習」を繰り返し、何も見ないで、正確に言え、正確に書けるまでにする。

(14) <授業中のアドバイス>

①授業中は、先生や、クラスメートの発言を、まずは、よく聞く。

②その後で、自分の考えをノートにまとめ、言い方を少し考えてから、積極的に発言する。

③質問や、発言をする場合には、必ず、自分の考えを、たとえ数行でもいいから、「ノートにまとめてから」、ことば、表現を選び、堂々と質問、発言する。

(15) パワポを用いてのプレゼンテーションは、パワポを使い、何回も練習してからこれを行う。

○パワポを作ることに熱中し、発表の練習をしないと、よい発表にはならない。

(16) 単位認定試験の準備は、1か月以上前から行う。「教科書」「教材」「授業ノート」を「スミからスミまで」全部覚える。「

○「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」を徹底的に行い、「全部覚えてから、試験に臨む」

(17) 大学図書館、公共図書館には、毎日通い「自分の居場所」にする。母国語の新聞、日本語の新聞。

①英語の新聞を、毎日、図書館で読み続ける。

②辞書に親しみ、1日10回、英語の辞書、1日10回日本語の辞書、1日10回母国語の辞書で、言葉の意味を調べ、「意味調べノート」に書き写し、「音読練習」をし、読み方を覚える。「書き取り練習」をし、書き方を覚える。

③その「意味調べノート」は、毎日、1ページから音読練習し、全部身につける。

(18) 大学生は、読書に励み。

①本は、最後まで読む。

②本は、1回きりでなく、何回も読む。

③本は6回読む。

○「著者との時空を超えた対話」を行い、思慮深さを育む。好きな作家、著者の本は、全集で読む。全作品を読む。

(19) ①大学や専門学校、大学院では、ワード、エクセル、パワーポイントを用いるので使いこなせるようにする。

②大学からの連絡と申請手続きは、すべて、パソコンを 사용합니다。



③パソコンのスキルを習得するには、時間が必要なため、
パソコンの操作に慣れておく。

(20) パソコンのスキルを習得するため、

- ① Windows 11、
- ② Word, Excel,
- ③ Powerpoint



以上の「日本語の解説本」を用意し、熟読。「日本語表記」に慣れ親しむ。

○解説本は、Bookoff など、古書店を利用すると安価に入手できる。

5. これから、世界は大きく変化します。日本も、また、皆様の祖国も、大きく変化します。世の中の変化をしっかりと見据えて、自分と、ご家族、祖国、そして、世界のために何ができるか、自分の力で、しっかりと考え、自分の責任で行動してまいりましょう。そのための学びの場所が、これから、皆様が進学する、大学、専門学校、大学院です。入学までの4カ月間、しっかりと準備学習をして、ご自分の人生を切り開くことを、心からお祈りいたします。



開倫塾日本語学校は皆様の母校の一つです。日本最古の学校「足利学校」のある街の開倫塾日本語学校で学んだことを、誇りに思い、これからの人生をしっかりと歩んでください。

English



日本語

今週



先週



学校の電話番号を
知っていますか。